

令和7年2月

MCIスクリーニング検査プラス報告書変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて、委託先のプリメディカより「MCIスクリーニング検査プラス」の報告書を一部変更する旨の連絡がございましたので、下記のとおりご案内申し上げます。

敬白

記

■変更日 令和7年4月4日(金)報告分より

■変更項目 MCIスクリーニング検査プラス (項目コード4445)検査案内未掲載

■主な変更内容

詳細は別紙をご参照ください。

① p2：検査結果の配置・デザイン変更

受検者の総合評価、MCIリスク値、個別の4カテゴリーに関するリスクレベルを同一枠内に収め、自身の結果情報を一目で認識できるようレイアウトを変更しました。

また、評価と数値部分をより識別しやすくするため表記を赤文字に変更いたします。

② p2：受検者向けサイト「My MCIプラス」の紹介

受検者向けの情報サイト(<https://mci-plus.com/mymciplus-lp/>)の案内を下段に掲載いたします。サイト内ではより詳しい検査内容の解説や認知症の予防のためのヒントなどもご紹介しております。

③ p4：検査後の行動変容に関する情報の配置変更

検査後の行動変容を促すために文言を変更いたしました。また、次回検査の目安日に関する記述を結果ページ下段より最終ページに変更いたしました。

以上

新報告書のPDFは、右記2次元コードあるいは下記URLからもご覧いただけます。

<https://www.premedica.co.jp/wp-content/uploads/2025/01/mcis.pdf>



*お問合せ先：029-837-2721 総合インフォメーション

2025-A-009

別紙1: 変更点イメージ 左: 現行版/右: 新版

テスト ハナコ 様 MCIスクリーニング検査プラス 結果報告書

総合評価

あなたのMCIリスク値 **0.88**

▼今日 ▼前回 ▼前々回

B評価

MCIのリスクは低めです。健康的な生活を意識的に習慣づけることでMCIのリスクを抑えることができます。

0.00 0.50 1.00 1.50 2.00 [MCIリスク値]

評価	リスク値	説明
A	0.00~0.50	現在の生活習慣を継続し、健康的な日常生活を心がけましょう。ご自身の状態を定期的に把握して予防に努めましょう。
B	0.51~1.00	健康的な生活を意識的に習慣づけることで、MCIのリスクを抑えることができます。予防は早く取り組むほど効果的なので、引き続き予防に努めましょう。
C	1.01~1.50	【中年期の方】現在の生活習慣を見直すきっかけと捉え、予防に取り組み、健康的な日常生活を送るよう心がけることが大切です。 【高齢の方】生活習慣を見直し、予防に取り組みましょう。「認知症予防マニュアル」や「認知症予防習慣サイト」をご覧ください。
D	1.51~2.00	【中年期の方】このままの生活習慣が続くと将来のMCIのリスクが高まります。日常生活を見直し、予防に取り組みましょう。 【高齢の方】生活習慣改善のために「認知症予防マニュアル」や「認知症予防習慣サイト」をご覧ください。もの忘れの自覚がある方はもの忘れ外来などの受診をおすすめします。

※高齢の方は一律に65歳以上の方を指します。
※本検査は予防のための検査であり、MCIであるかどうかの診断結果を示すものではありません。

本検査ではアルツハイマー型認知症の発症に関わるタンパク質の量を測定することでMCIのリスクを判定しています。またそのタンパク質を4つのカテゴリーに分けてリスクレベルを表しています。

4つのカテゴリーにおけるあなたのリスクレベル

カテゴリー	リスク値
良好	0.0 ~ -3.2
注意	3.3 ~ -6.6
要注意	6.7 ~ -10.0
栄養群	3.2
脂質代謝群	2.8
炎症・免疫群	5.0
凝固線溶群	1.6

イメージキャラクター「きつきちん」

検査を終えて

MCIや認知症の予防は生活習慣の見直しも大切だとされています。同様の「認知症予防マニュアル」や「認知症予防習慣サイト」を参考に予防に取り組みましょう。次回は2024年の1月頃を目安に検査を受けましょう。

2

MCIスクリーニング検査プラス 結果報告書

テスト ハナコ 様の評価

あなたのMCIリスク値 **0.88**

▼今日 ▼前回 ▼前々回

B評価

MCIのリスクは低めです。健康的な生活を意識的に習慣づけることでMCIのリスクを抑えることができます。

0.00 0.50 1.00 1.50 2.00 [MCIリスク値]

テスト 様の4つのカテゴリーにおけるリスクレベル

当検査ではアルツハイマー型認知症の発症に関わるタンパク質の量を測定することでMCIのリスクを判定しています。またそのタンパク質を4つのカテゴリーに分けて0.0~10.0でリスクレベルを表しています。

カテゴリー	リスク値
良好	0.0 ~ -3.2
注意	3.3 ~ -6.6
要注意	6.7 ~ -10.0
栄養群	2.2
脂質代謝群	3.0
炎症・免疫群	1.9
凝固線溶群	1.3

総合評価の説明

評価	リスク値	説明
A	0.00~0.50	現在の生活習慣を継続し、健康的な日常生活を心がけましょう。ご自身の状態を定期的に把握して予防に努めましょう。
B	0.51~1.00	健康的な生活を意識的に習慣づけることで、MCIのリスクを抑えることができます。予防は早く取り組むほど効果的なので、引き続き予防に努めましょう。
C	1.01~1.50	【中年期の方】現在の生活習慣を見直すきっかけと捉え、予防に取り組み、健康的な日常生活を送るよう心がけることが大切です。 【高齢の方】生活習慣を見直し、予防に取り組みましょう。「認知症予防マニュアル」や「認知症予防習慣サイト」をご覧ください。
D	1.51~2.00	【中年期の方】このままの生活習慣が続くと将来のMCIのリスクが高まります。日常生活を見直し、予防に取り組みましょう。 【高齢の方】生活習慣改善のために「認知症予防マニュアル」や「認知症予防習慣サイト」をご覧ください。もの忘れの自覚がある方はもの忘れ外来などの受診をおすすめします。

※高齢の方は一律に65歳以上の方を指します。
※本検査は予防のための検査であり、MCIであるかどうかの診断結果を示すものではありません。

~WEB会員サービス「My MCIプラス」が始まりました~

もっと詳しく検査結果がわかります

- 測定しているタンパク質の値がわかります
- あなたの結果にあわせて予防法がわかります
- あなたと同世代の検査結果を比べられます

登録はこちらから(無料)

詳細は検査結果添付冊子「認知症予防マニュアル」の14ページをご参照ください <https://mci-plus.com/mymciplus-p>

※このサービスは、スマートフォンもしくはPCで検査結果をより分かりやすく解説するサービスです。※当サービスは無料ですが、通信料は別途発生いたしますのでご了承ください

2

MCI (軽度認知障害) について

◆健常の状態から認知症を発症するまでの間の段階であるMCI (軽度認知障害)。認知症予備軍といわれ、そのまま経過すると約5年でその半数が認知症に移行してしまうといわれています。

◆アルツハイマー型認知症は、発症する20年以上前から主な原因の一つといわれているアミロイドβが脳内に溜まりはじめ、認知機能が少しずつ低下していきます。

検査結果は予防のヒントです

アルツハイマー型認知症は一度発症してしまうと健常に戻る 것이難しいといわれています。ですが、MCIの段階で適切な予防を行うと、発症を遅らせたり防いだりすることができると最近の研究でわかってきています。健康な方でも高齢になるにつれてMCIや認知症のリスクは高まります。検査結果が気になる方は、生活習慣を見直し予防に取り組みましょう。

MCI・認知症を予防する

運動をする バランスの良い食事 ぐっすり眠る

生活習慣の改善がMCI・認知症予防に有効です。

認知症予防に取り組むための別冊資料「認知症予防マニュアル」や『認知症予防習慣』サイト (<https://ninchishoyobo.com/>) をご覧ください

健康診断とおなじように定期的に検査を受けることで自身の変化に早期段階で気づきましょう。

<注意事項>

- 本検査はアルツハイマー型認知症の前段階であるMCI (軽度認知障害) のリスクを統計的に調べるものです。早期に発症するためのスクリーニング検査です。MCIであるかどうかの診断結果を示すものではありません。
- 認知症の最大のリスクは加齢です。20~30歳代の検査結果についてはMCIには異なる疾患による影響を考慮した評価が必要です。
- 本検査は自己免疫性疾患をお持ちの方、急性炎症が認められる方、肝臓病の方、先天性胆管異常症の方は、検査結果の判定に影響する可能性があります。

4

MCI (軽度認知障害) について

◆健常の状態から認知症を発症するまでの間の段階であるMCI (軽度認知障害)。認知症予備軍といわれ、そのまま経過すると約5年でその半数が認知症に移行してしまうといわれています。

◆アルツハイマー型認知症は、発症する20年以上前から主な原因の一つといわれているアミロイドβが脳内に溜まりはじめ、認知機能が少しずつ低下していきます。

生活習慣の改善が認知症予防に有効

運動をする バランスの良い食事 ぐっすり眠る 趣味を楽しむ

検査結果は予防のヒントです

アルツハイマー型認知症は、一度発症してしまうと健常に戻る 것이難しいといわれています。しかし、MCIの段階で適切な予防を行うと、発症を遅らせたり防いだりすることができると最近の研究でわかってきています。MCIスクリーニング検査プラスを2回以上受けた方の52%の方は数値が改善しておりますので、今回確認できたリスクを、予防のきっかけとしてとらえましょう。

*2024年6月時点で2回以上受けている方の集計より

次回検査受診の目安

MCIスクリーニング検査プラスは、多くの方に継続して受けていただいています。生活習慣や加齢により数値が変化しますので、年に1回の受診をおすすめします。

次回は2025年の8月頃を目安に検査を受けましょう。

<注意事項>

- 本検査はアルツハイマー型認知症の前段階であるMCI (軽度認知障害) のリスクを統計的に調べるものです。早期に発症するためのスクリーニング検査です。MCIであるかどうかの診断結果を確定するものではありません。
- 認知症の最大のリスクは加齢です。20~30歳代の検査結果についてはMCIには異なる疾患による影響を考慮した評価が必要です。
- 本検査は自己免疫性疾患をお持ちの方、急性炎症が認められる方、肝臓病の方、先天性胆管異常症の方は、検査結果の判定に影響する可能性があります。

4